

## 最上総合支庁長より新年度のご挨拶

平成29年度がスタートいたしました。今年度も、最上総合支庁職員一丸となって最上地域振興のため頑張っております。

さて、昨年度は、当地域では、県立新庄病院改築整備基本構想策定、新庄まつりのユネスコ登録、森林ノミクスの進展や農大林業経営学科新設、東北中央道真室川雄勝道路の新規事業採択など、新しい大きな動きがありました。

今年度は、これらの動きを更に加速させるため、総合支庁としても関係機関と連携し、しっかりと取り組んでまいります。

また、今年度から第3次山形県総合発展計画の新しい短期アクションプログラムがスタートします。当地域では、特に若者や女性の域外流出に象徴されるように人口減少問題が大変深刻な状況です。この対策を最重点テーマとして常に念頭に置きながら、農林業や商工業等の産業振興、まつりや雪を活用した観光振興、医療・介護人材の育成・確保、女性の活躍や子育て環境の整備、各種インフラの整備など、市町村の方々と密接に連携しながら、元気な最上地域を創造し、「やまがた創生」の実現に向けて全力で取り組んでまいりますので、よろしく願いいたします。



最上総合支庁長 石山 健一

### 最上地域の看護師確保をバックアップ!

もがみ看護師確保推進ネットワーク協議会総会  
 看護師育成最上地域修学資金に係る協定締結式 をそれぞれ開催

3月22日(水)新庄市民プラザにおいて約50人の会員等が出席し、「平成28度もがみ看護師確保推進ネットワーク協議会総会」が開催されました。

最上地域における看護師の確保・育成・定着を目的に1年前に設立された同協議会は今年度3つの専門部会を立ち上げ、県立新庄病院を中心とした新任看護師研修体制の構築、管内の看護師の求職活動や魅力発信に役立てる「最上地域看護職就職ガイドブック」の発行などの活動状況が報告されました。



また、平成32年度まで①看護系学校進学者43人以上、②ナースセンターへの登録を求職者50名以上、③同センターでの求人・求職マッチング数20人以上、④医療機関・介護施設等での看護職員の採用率75%以上の目標を定め、来年度以降さらに事業を展開していくこととなりました。

一方、同日最上8市町村長による「看護師育成最上地域修学資金」に係る協定書の締結式が行われました。

この修学資金は最上地域出身の看護学生に対して月額5万円を貸与し、最上地域への居住と就職を条件に返済を全額免除する給付型で、平成29年度から8市町村が同じ内容で制度を開始する画期的なものです。

最上地域の看護師確保に向けた事業が、また一つ形となってスタートしました。

保健企画課 29-1256

# 最上を元気にする意見交換会



最上総合支庁では、3月6日（月）に「もがみを元気にする意見交換会」を開催し、最上地域で意欲的に農業に取り組む8名の若手農業者によるパネルディスカッションを行いました。パネリストの実践する元気な農業や将来の夢・目標をテーマに、参加者も加わった活発な意見交換が行われました。農業に興味を持つ高校生・県立農林大学校生・新規就農者、指導農業士を始めとする地元農家の方々約100名が参加しました。

具体的な内容は、異分野も含めた様々な人とのネットワーク、先輩・仲間、JAとの協力、消費者とのつながりなど、「人と人がつながることによって成長する」ということが共通のキーワードでした。また、「農業はやり方次第でいくらでも“のびしろ”ある」、「やればやるだけ自分に返ってくる可能性のある仕事で、やりがいがある」、「農業はおもしろい」、「夢や目標をもつことが大切」、「女性ならではの感性が活かされることが必ずある」等、パネリストの経験にもとづく想いや、これから農業に取り組む若者への示唆に富むアドバイスに溢れた意見交換会となりました。

地域産業経済課 29-1306



## 最上地域農林水産業若者表彰式

最上地域の農林水産分野で活躍する若者の優れた功績・成果、地域の課題解決に向けた地道な取り組みなどを顕彰する「平成28年度最上地域農林水産業若者賞」の表彰式が、3月6日（月）に最上総合支庁で行われました。大蔵村の農業・伊藤貴之さん、最上町の林業・結城貴宏さんの2名が受賞し、石山健一最上総合支庁長より表彰状が贈呈されました。

伊藤さんは平成15年より夏秋トマトの栽培を始め、現在はハウス8棟で年間36トンを生産し、収量・品質とも高い評価を受けています。県青年農業士として新規就農者への技術指導や、「大蔵村農業後継者の会」でトマトカレーの開発などを行っています。結城さんは平成17年より家業の(株)結城林業で素材生産等に従事し、高性能林業機械ハーベスタのオペレーターとして適正な森林整備と効率的な作業体系を確立しています。町のバイオマス関連事業や小中学生への森林環境教育に貢献しています。



左から 伊藤さん、結城さん

地域産業経済課 29-1304

## 地域未来フォーラムinもがみ ～地域づくり・移住者受入れ環境づくり～の報告

3月15日（水）、将来にわたり地域住民が安心して暮らし続けること、そして新たな活気を生み出す移住者の受入れを促進させる環境づくりの拡大を目的に初めて本フォーラムを開催しました。新庄市ゆめりあの会場に約50人が参加し、講演やパネル討論で地域づくりの心構えを学びました。

「人と組織と地球のための国際研究所」川北秀人代表から、「住民主体の地域づくりでは、これまでのイベントなどの行事主体の運営から、福祉と経済など事業主体の経営に変革が求められる」など、これからの地域経営の重要性について講演がありました。続いて開かれたパネル討論では、「NPOなかだ俱樂部」栗田伸一理事長、「NPOネイチャーアカデミーもがみ」矢口末吉代表理事、「地域づくり応援団キラッとO～RA☆DA」早坂民奈会長が登壇し、人口減少下でも元気に生き生きと暮らしていくため、活動内容を踏まえ活発に議論を交わしました。

総務課連携支援室 29-1239



# 熊本県職員派遣報告

熊本県の災害復旧支援業務として、2月1日(水)から28日(火)まで熊本県県央広域本部宇城地域振興局農林部農地整備課にて災害復旧業務に従事しました。

## 【担当業務】

- 宇土南部地区県営農地等災害復旧事業（農地等）第1号工事
  - ・受注業者が、ほかの災害復旧工事の対応のために本格着工できない状況でした。降雨によるさらなる災害を防ぐために、仮設排水対策を実施しました。
- 三角地区県営農地等災害復旧事業（農地等）第1号工事
  - ・設計書の照査、着工前測量を実施しました。また、崩落した土砂の撤去により発生した残土の処分について地元の方との調整を行いました。
- 団体営農地災害復旧事業に関すること
  - ・団体営農地災害復旧事業に関する各種調査について、管内市町（宇土市、宇城市、美里町）との調整を行った。

農地整備課 22-4020



宇土南部地区



三角地区

## 最上小国川写真コンテスト入賞作品のご紹介

最上小国川清流未来振興機構では、清流最上小国川の大切さについて、多くの皆さんに改めて気付いていただき、それを未来に伝える機運を醸成することを目的として「最上小国川写真コンテスト」を初めて開催いたしました。今月号では、ご応募いただいた作品の中から入選作品をご紹介します。



作品名：めっちゃ楽しい！

受賞者：佐藤真由美さん



作品名：紅一点

受賞者：菅清一さん



作品名：未来へのかけ橋

受賞者：伊藤重成さん

## やまがた景観物語～新庄カド焼きまつり～

カドとは、「鯧（ニシン）」のことです。東北地方では、産卵のために押し寄せるニシンを門口で獲れたことからカドと呼ぶようになったと言われ、春の産卵期に北方の海に現れることから「春告魚（はるつげうお）」とも呼ばれます。

新庄は、豪雪地帯ため、冬期間は鮮魚の入手が困難でした。そのため雪解けと共に入荷するカドを焼いて酒を酌み交わし、春の到来を喜びました。

毎年、最上公園で行われる新庄カド焼きまつりは、今日では春の風物詩になっています。今年の開催期間は4月29日（土）から5月5日（金）までです。

ぜひご来場ください！



# お知らせ

## 春の交通安全県民運動最上地区出発式について

春の交通安全県民運動（4月6日（木）から4月15日（土））を盛り上げるとともに、交通事故防止の呼びかけと徹底を図るため、最上地区出発式と新庄市内でパレードを行います。

【日時】4月6日（木）

〈出発式〉15:00から15:50まで

〈パレード〉出発式終了後

【場所】最上広域交流センターゆめりあ  
「花と緑の交流広場」

※パレードは駅前ロータリーを出発

総務課防災安全室

## 山火事防止運動が始まります！

山火事が多発する春を迎え、山火事防止啓発キャラバン出発式、広報車による管内巡回、チラシ等配布を4月21日（金）に実施します。

9:30～『出発式』最上総合支庁正面

16:00～『チラシ等配布PR』

ヨークベニマル新庄店入口

森林整備課 29-1350

## 最上地域「緑の募金」街頭キャンペーン

地域の緑化活動を推進するために、新庄市、緑の少年団並びに市内高等学校ボランティアが連携して「緑の募金」活動を実施します。

【日時】4月16日（日）13:00～

【場所】新庄駅前「ゆめりあ」正面入口、ヨークベニマル新庄店、

マックスバリュ新庄店



森林整備課 29-1350

## 4月の花見・イベント情報

もがみ桜まつり	4月下旬	最上町 役場駐車場	恒例のジョギング大会をはじめ、抽選会など様々なイベント企画の他、美味しい食べ物の出店や特産物の販売もあるイベント盛りだくさんのお祭りです。同会場にて「もがみ肉牛まつり」も行います。
新庄カド焼きまつり	4/29（土） ～5/5（金）	新庄市 最上公園特設会場	旬を迎えた新庄名物・カド（ニンジン）をたっぷり味わえる春の風物詩。濠端の約300本の見頃の桜とともに春の訪れを祝います。炭火で焼いた大型のカドは脂が乗って食べごたえ十分です。カド美食大会や歌謡ショーも開催されます。
春のかねやまを 楽しもう	4/29（土）	金山町 マルコの蔵前広場	ゴールデンウィークを中心に、金山町の中心街で行われるミニフェスティバル。お茶会、青空市など、楽しい企画を予定しています。
真室川梅まつり	4/22（土） ～5/7（日）	真室川町 真室川公園	真室川町に春を告げる恒例イベント。梅・桃・桜が一斉に開き、期間中は夜間のライトアップも行われます。観梅会では真室川音頭や郷土芸能等各種ステージイベントも開催！

発行日：平成29年4月1日

発行元：山形県最上総合支庁総務企画部総務課総合案内窓口

電話：0233-29-1360

FAX：0233-23-2605

HP(<http://www.pref.yamagata.jp/ou/sogoshicho/mogami/314001/eco-polis.html>)でもご覧いただけます。

ぼくは最上地域のゆるきゃら「もがみる」です。「最上」と「観る」から付けられた名前です。毎月いろんな服で登場するからよろしくね！



「やまがた創生」を推進し「自然と文明が調和した“新”理想郷山形」の実現に向け、しっかりと取り組んでまいります！

## 最上総合支庁 平成29年度当初予算の概要 総合支庁の予算 計192,163千円

### 1 農業ブランド大国「最上」のくにづくり 5,141千円

- 地域の強みを活かした園芸作物等の生産拡大、最上传承野菜等の活用、産地直売所と連携した情報発信
- 「もがみにら」の産地強化プロジェクト事業 **新規** 462千円  
・大規模栽培農家の育成、秋にら生産拡大による産地化の強化
- 土地利用型野菜アスパラガス産地向上プロジェクト事業 **新規** 155千円  
・展示圃設置等による地域に適応した栽培技術の確立
- 地域連携高品質飼料の安定確保プロジェクト事業 **新規** 150千円  
・コントラクターのネットワーク化の推進、高品質飼料生産のための実証展示支援
- 産直を核とした農観連携創出事業 **新規** 525千円  
・産地直売所の取扱商品アイテムの充実、効果的な情報発信
- 最上の食材発信強化事業 577千円  
・仙台圏の消費者をターゲットにした「もがみ地域特産品フェア」の開催  
・・・等



### 2 人と技術が活きる「最上」の産業づくり 11,423千円

- 産学官連携やビジネス交流による地域企業の収益力強化の支援、産業人材の育成定着
- 新庄まつり等の歴史文化や有数の豪雪地という地域の特色を活かした、滞在型観光やインバウンドの推進
- 木材関連産業の推進、特用林産物の利用拡大、木質バイオマスエネルギーの利活用、みどりの循環システムの構築
- 最上地域ものづくり産業強化事業 422千円  
・「もがみイブニングサロン」によるビジネスマッチングの実施
- 最上地域企業ポテンシャルアップ事業 228千円  
・山形大学研修者等を講師に企業課題の解決に向けた研修会等を開催
- 「最上夜学」産学官連携推進事業 315千円  
・新たな産業化につながる研究や技術開発など産学官連携のきっかけとなる最上夜学の開催
- 魅力ある最上の仕事発信事業 **新規** 2,366千円  
・若者等の地元就職・回帰を促進するための「もがみ仕事の魅力ガイド」の第2弾発行
- 広域観光推進事業 2,978千円  
・「ブナ・巨木」などの自然に、歴史・文化、食等の幅広い観光資源を結び付けた情報発信
- もがみ薪プロジェクト推進事業 **一部新規** 2,814千円  
・薪の利用拡大に向けた検討会等開催、栽培施設等での実証試験
- 森づくりリーダー育成事業 **一部新規** 398千円  
・森づくり活動の指導者を養成するため、基礎的知識と技術習得を目指す講習会を開催  
・・・等



### 3 安全・安心を支え交流・連携を推進する「最上」の基盤づくり 907千円

- 高速道十字連携軸の形成、県管理道路の整備推進、「道の駅」の整備促進、地域交通システムの構築
- 最上小国川流域の治水対策の強化、風水害・土砂災害対策の推進、市町村と連携した避難対策や雪対策

- 高速道十字連携軸整備促進事業 400千円
  - ・整備促進に向けた機運の醸成を図る「最上を拓く高規格道路」建設促進合同大会の開催
- 「道の駅」整備に向けた市町村への支援事業 **新規** 138千円
  - ・検討会の開催等による「道の駅」の整備促進に向けた支援
- 災害時の対応力強化 369千円
  - ・自主防災組織の設立を推進するため、具体的な手法を学ぶワークショップの開催



### 4 住民がいまいきと暮らせる「最上」の地域づくり 4,600千円

- 医療機関の連携体制の強化、医療・福祉を支える人材の育成・定着、健康寿命の延伸
- 結婚から子育てまで切れ目のない支援、多様な主体が連携・交流し活躍できる地域づくり

- 最上の人材育成地域定着推進事業（医療・介護） **一部新規** 450千円
  - ・医療従事者を輩出する環境を作るため、小中高生に対し動機づけ講習会等を開催
  - ・看護師の確保・育成及び定着に向けた「もがみ看護師確保推進ネットワーク協議会」の取り組みの推進
  - ・介護人材の確保・定着策を検討するネットワーク協議会を設立
- すこやかもがみ健康づくりネットワーク事業 **一部新規** 618千円
  - ・糖尿病予防及びがん対策の啓発活動、生活習慣病予防対策の強化
- 最上地域発達障がい児等相談支援事業 264千円
  - ・発達障がい児の早期対応、支援のための医師等による保育所等への巡回相談の実施
- 輝くモガティブウーマン発掘・発信事業 **一部新規** 711千円
  - ・最上の眠れる女性人材の発掘・発信と、女性の更なる活躍を促進
- 連携・協働による最上の地域づくり支援事業 **新規** 1,057千円
  - ・地域づくり団体に対する活動支援、地域づくりを支える人材育成、地域づくりコーディネーター養成
- 最上小国川清流未来振興事業 1,500千円
  - ・最上小国川流域の新たな魅力や価値の創造を推進



### 本庁予算の主な事業

#### 【県土整備部】

- 最上小国川流水型ダム整備事業 1,418,560千円
  - ・最上小国川流水型ダムの早期完成に向け、ダム堤体工事等を推進

#### 【病院事業局】

- 新庄病院改築整備事業 **新規** 899,889千円
  - ・建築後40年以上経過し、施設の老朽化・狭隘化や診療環境の改善が課題となっている県立新庄病院の改築整備を進め、最上地域の医療強化を図る

#### 【観光経済交流局】

- 「新庄まつり」等の魅力発信・活用 **新規** 9,506千円
  - ・新庄まつりユネスコ無形文化遺産登録を踏まえた誘客の取り組み

